

令和元年度

第2次出水市男女共同参画計画
実施計画事業評価

令和3年3月

出水市

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	①	固定的性別役割分担意識の解消に向けた学習の推進及び慣行の見直し

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	広く市民を対象とする男女共同参画に関する学習機会の提供	講演会・出前講座	企画政策課	A
2	男女共同参画社会の形成に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画だよりの発行	企画政策課	A
3	男女共同参画の視点に立った社会教育・家庭教育の推進	各種講座等の開催	生涯学習課	A
4	男女共同参画社会の形成に向けた全庁的な理解の共有と意識の啓発	男女共同参画に関する職員研修の実施	総務課	A
		男女共同参画に関する職員研修の実施	企画政策課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 子育てにおける無自覚の偏見をテーマに市民向け講座を開催し、市民21名が参加した。男女共同参画、DVと児童虐待、男性の育児参加等に関するチラシを作成し、全戸配布した。窓口・相談員スキル向上として、DVに関する職員研修を実施し、職員74名が参加した。</p> <p>【生涯学習課】 保幼小中で実施される家庭教育学級に講師を派遣した。</p> <p>【総務課】 女性の人権、障害者の人権、セクシャルハラスメント等に関する職員研修を実施し、職員86名が参加した。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	講座の実施や啓発活動は十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>講座や研修等、学習機会の提供については、無自覚の偏見に気づくことが出来る重要な機会と思われるため、今後も取組を継続していただきたい。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	②	学校教育における人権・男女平等教育の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女共同参画の視点に立った人権・男女平等教育の推進	教職員への指導・研修の充実	学校教育課	A
2	学校における男女共同参画の視点に立った総合的なキャリア教育	教職員への指導・研修の充実	学校教育課	A
3	学校教育関係者が男女共同参画を正しく理解するための学習機会の提供及び情報提供の推進	各種研修会への参加	こども課	A
		県主催の人権教育研修への参加	学校教育課	A
		出前講座	企画政策課	A

2 取組状況

<p>【学校教育課】 人権に配慮した指導を行うため、人権研修を実施し、教職員200名参加した。 個性を大切にしながら進路指導のための研修を実施し、教職員及び管理職30名が参加した。 県主催の人権教育関係の研修に教職員約100人が参加した。</p> <p>【こども課】 各園に対し、研修会の案内等の情報提供を行った。</p> <p>【企画政策課】 市内中学校3校を対象に出前講座を実施し、市内中学校1校を対象に実施された県の事業に協力を 行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	学校教育等における人権・男女平等教育の推進に関する指導や研修の実施は十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>市の出前講座は子どもたちへの学習機会の提供として重要であるため、今後も取組を継続していただきたい。</p>
--

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	③	性の多様性についての理解促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	性の多様性に関する啓発、相談対応	男女共同参画だよりの発行	企画政策課	B
		思春期保健事業	健康増進課	A
		管理職研修会	学校教育課	A
		学校内の相談窓口の設置	学校教育課	A
		困ったときのほっとダイヤル	学校教育課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりを3回発行したが、性的少数者に関する記事は掲載できなかった。</p> <p>【健康増進課】 市内中学1年生や随時の依頼に対して出前講座を計14回実施した。</p> <p>【学校教育課】 管理職に対してLGBTについての研修会を8回実施し、40名が参加した。 人権尊重の理念を学校教育の基盤に据えるよう指導し、学校グランドデザインに人権教育の理念を明記した。 生徒や保護者への教育相談のため、「心の教室」や自立支援教室「ほっとハウス」を設置した。 心の教室の相談実績 1,032件 ほっとハウスの相談実績 206件。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	男女共同参画だよりによる性の多様性に関する啓発や相談窓口の周知を充実させ、他の取組については現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>関係機関に勤めているが、「こころの教室」や「ほっとハウス」がどこにあって、どのように相談して、どのような支援を受けられるのかを知らない相談者が多いため、周知に取組んでいただきたい。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	2	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
施策の方向	①	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大に向けた環境整備の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女共同参画に関する男性の理解の浸透を図るための啓発の促進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B
2	雇用分野における女性の参画の拡大を図る取組の推進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	A
3	市の審議会等委員への女性の登用を進める取組の推進	計画的な登用	企画政策課	A
4	市における女性職員の管理職登用推進	女性職員の能力発揮のための支援	総務課	B
5	自治会等地域活動における方針決定過程への女性の参画の拡大を図る取組の推進	意識啓発	企画政策課	A
		自治会長等研修会	くらし安心課	B
6	「男女共同参画の視点」と「協働」の手法を活用した地域づくりに関する学習の推進	NPO法人等の設立支援	くらし安心課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりで育児休業に関する内容を周知し、雇用分野の女性参画拡大に関するセミナー情報を市内企業に郵送した。 審議会委員の女性登用協力について庁内周知した。 企業や自治会への効果的な情報提供や意識啓発の方法については関係課等と検討を行う。</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を庁内に掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知したが、事業者への直接の周知はできなかった。 企業や商工業等の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【総務課】 女性管理職候補者の育成を目的とした研修に職員2名を派遣したが、女性職員への広い周知ができなかった。</p> <p>【くらし安心課】 自治会連合会等に対し、意思決定への女性参画について依頼し、自治連だよりの内容が男女共同参画の視点に配慮した表現となっているか確認した。 既存のNPO法人等に対し、関係機関が実施する研修会等の情報提供を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大のため、審議会等委員への女性登用を積極的に行い、企業や自治会に対してより直接的な研修案内や情報周知を行う。

A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

審議会等委員について、男女共同参画計画では令和4年度までに女性登用率30%を目標としているが、令和元年度実績は17.9%であるため、何らかの取組が必要と思われる。
また、企業や自治会長等への研修会など、情報提供以外による取組についても検討していただきたい。

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	2	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
施策の方向	②	女性の能力発揮のための支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	女性の能力開発のための支援	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	A
		創業支援事業	シティセールス課	A
2	農林水産業や商工業等の自営業の分野における女性の経営参画の促進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	A
		情報提供・啓発活動	農林水産整備課	B
		創業支援事業	シティセールス課	A
		情報提供	農政課	A
		家族経営協定	農政課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関主催の女性セミナーの情報を庁内に掲示し、女性職員へ直接周知や企業に郵送を行った。</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を庁内に掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知した。 公的支援利用の女性起業家4名に対し、セミナー等の情報を直接提供した。 企業や商工業等の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【農林水産整備課】 関係団体に対して事業の情報提供を行うことで女性の経営参画を支援したが、女性の能力開発支援の視点での情報提供はできなかった。 農林水産業の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【農政課】 県大隅加工技術センター実施の加工研修を市内女性農家からなる女性起業研究会に対して開催。 家族経営協定について、指導や助言を行った。 農林水産業の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	女性の能力発揮のための支援として、関係機関が実施するセミナー案内等を企業等に対して実施しているが、林業、漁業者への周知が十分でなかったため、啓発活動を充実させる。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

主な意見等なし

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい
施策の方向	①	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保や非正規労働者の雇用環境の整備促進のための関係法令等の普及・啓発	広報啓発	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B
2	セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等防止に向けた啓発	広報啓発	企画政策課	B
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B
3	雇用に関する各種相談への対応	情報提供・啓発活動	シティセールス課	B

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関が発行する啓発資料を庁内に掲示し、男女共同参画だよりで両立支援等補助金の制度周知を行ったが、ハラスメントに関する内容を掲載することはできなかった。</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知したが、直接周知はできなかった。 企業への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	男女共同参画だよりによるハラスメントに関する啓発を充実させ、他の取組については庁舎内掲示等による啓発に限らず、企業に対してより直接的な研修案内や情報周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>企業等への直接的な啓発活動というのは難しい面もあるかと思われるが、何らかの方法を検討していただきたい。</p>
--

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい
施策の方向	②	長時間労働の是正等働き方改革の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進、育児・介護と仕事の両立支援に向けた意識啓発	市民への広報啓発	企画政策課	A
		市職員に対する意識啓発	総務課	B
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりの1月発行分で男性の育児参加について掲載を行い、全戸配布を行った。</p> <p>【総務課】 管理職勤怠管理表を導入し、振休の把握、取得促進を行った。年休取得日数：平均10.6日。 年次休暇の取得に際して、ワーク・ライフ・バランスに及ぼす、性別による固定的な役割分担への影響については理解を図る周知は行えなかった。</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知したが、直接の周知はできなかった。 企業への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	職員に対しては、年休取得に際して、ワークライフバランスに及ぼす固定的性別役割分担への影響についての理解を図り、企業等に対しては、庁舎内掲示等による啓発に限らず、より直接的な研修案内や情報周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>国では本項目に関するアドバイザーを事業所に派遣する事業を実施しているため、関係部署が連携して取組を行うのも手段の一つと思われる。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	③	農林水産業や商工業等自営業の分野における就業環境の整備

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	農林水産業や商工業等の自営業の分野における就業環境の整備	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	A
		情報提供・啓発活動	農政課	A
		情報提供・啓発活動	農林水産整備課	B
		家族経営協定	農政課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関主催の女性セミナーの情報を庁内に掲示し、女性職員へ直接周知や企業に郵送を行った。</p> <p>【シティセールス課】 関係機関が発信する情報をHPや庁内に掲載した。 商工業等の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【農政課】 関係機関から配布されるパンフレットの掲示や市内企業等に対しての資料送付で周知。 家族協定について指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。 農林水産業の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【農林水産整備課】 関係機関に対して事業の情報提供を行ったが、女性が働きやすい就業環境の整備の促進に関する情報提供は行えなかった。 農林水産業の自営業者への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	女性が働きやすい就業環境の整備の促進として、関係機関が実施するセミナー案内等を事業者等に対して実施しているが、林業、漁業者への周知が十分でなかったため、啓発活動を充実させる。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

農政課において、庁内掲示や市HPへの掲載だけではなく資料送付により情報周知を行っているようであるが、非常に有効な取組であるため今後も積極的に行っていただきたい。

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	④	男性の家事・育児等への参画の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男性の意識改革と家事・育児等参画への気運の醸成	市民への広報啓発	企画政策課	A
		市職員に対する意識啓発	総務課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B
		Peer Class（ママ・パパ教室）	健康増進課	A
		広報啓発事業	生涯学習課	A
2	仕事と育児や介護との両立のための制度等の周知	市民への情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B
		母子健康手帳交付時相談	健康増進課	A
		保育環境の充実と保育サービスの情報提供	こども課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 男女共同参画だよりの発行により男性の育児参加について啓発を行った。</p> <p>【総務課】 取得可能な子育てに係る休暇制度を対象男性職員に対し直接案内し、掲示板で全職員に周知した。 令和元年度：男性の育休取得率：0%、男性の出生時休暇取得率：20%</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を庁内に掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知したが、事業者への直接の周知はできなかった。 企業への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p> <p>【健康増進課】 ママ・パパ教室を16回開催、103組が参加。夜間開催や託児の手配を行い、参加しやすい環境の配慮を行った。 母子健康手帳の交付の際に産前産後の休暇等の情報について周知した。 手帳交付時の相談実績 定例相談44回 216人 随時相談 161人。</p> <p>【生涯学習課】 ママ・パパ教室において、固定的性別役割の解消に関する内容を盛り込んだ講話を実施。</p> <p>【こども課】 2つの認定こども園の園舎整備に補助を行い、安全で安心な保育環境の確保に努めた。 家庭の状況に応じた保育サービスについては、電話・窓口で相談者の状況に応じた情報の提供を行った。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	男性の家事・育児等への参画の促進のため、市民への周知等は十分に行えているが、市民向けの啓発講座の充実や企業に対する直接的な研修案内や情報周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

男女共同参画に関する講座について、子どもたちに対する講座は充実しているが、市民に対する啓発講座が少ないように思われるため、取組について検討していただきたい。

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	①	生涯にわたる男女の健康の包括的な支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	心身及びその健康についての正しい知識の普及と情報提供	健康相談・健康教育	健康増進課	A
		こころの相談会（こころの喫茶店）	健康増進課	A
		ゲートキーパー養成講座	健康増進課	A
2	男女の身体的違いやニーズを踏まえた健康づくりの支援	特定健診（長寿健診）	市民生活課	A
		特定保健指導	健康増進課	A
		健康教育・健康相談	健康増進課	A
3	がん検診受診率向上に向けた取組や女性特有の疾患等に関する普及啓発	女性がん検診	健康増進課	A
4	男女の健康状況や運動習慣の違いを踏まえた運動機会の提供	特定保健指導・健康教育・健康相談	健康増進課	A
		運動機会の提供	市民スポーツ課	A

2 取組状況

<p>【健康増進課】 相談、健診、保健指導等においては、広報等で広く周知して個々の生活状況に応じた相談対応を行った。 こころの相談会は同報無線やチラシにより周知し、プライバシーが守られる環境整備に配慮して実施した。 ゲートキーパー養成講座は新規者向け講座39名（男24、女15）、継続者向け講座37名（男3、女34）が参加。 女性がん検診受診率 子宮頸がん16.7% 乳がん（マンモ）21.8% （参考） 県平均 子宮頸がん13.94% 乳がん19.20%</p> <p>【市民生活課】 集団健診においては、土日健診の実施で受診しやすい環境づくりに取組んだ。 長寿健診受診率 27.09% 特定健診受診率 43.3%。</p> <p>【市民スポーツ課】 市民主催の自主事業活動等を支援し、市民の方々に運動機会の提供を行った。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	男女の健康の包括的な支援に関する相談体制、講座実施は十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

市の健診については、スマートフォンでの予約が可能となってから、職場内でシフトを組んで受診できるようになり受診可能な職員も増えたため、非常に良い取組だと感じている。

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	②	妊娠・出産等に関する健康支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）についての理念の普及啓発	広報啓発	企画政策課	B
		Peer Class(ママ・パパ教室)	健康増進課	A
2	妊娠・出産期における健康管理の充実	母子健康手帳交付	健康増進課	A
3	不妊・不育治療に関する支援の充実	不妊・不育治療に関する支援の充実	健康増進課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関が発信する情報をHPや庁内に掲載したが、男女共同参画だよりではリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する記事を掲載できなかった。</p> <p>【健康増進課】 ママ・パパ教室では夜間開催や託児による参加しやすい環境配慮を行うことで、夫婦で子育てや母子の健康を考える機会の提供を行った。 母子手帳交付377人。妊娠から出産・産後の健康管理のため、関係機関と連携を図りながら、必要な支援を提供した。 一般不妊治療申請45件。特定不妊治療申請者56件。関係機関との連携により男性不妊治療も含めて増加傾向。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	男女共同参画だよりによるリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する啓発を充実させ、他の取組については現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>性と生殖に関する健康と権利について考える機会としてママパパ教室が挙げられているが、結婚する前の方や妊娠する前の方に対する啓発もあった方がよいと思われる。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	③	性に関する正しい理解の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	性に関する正しい知識の普及	思春期保健事業	健康増進課	A
		保健センターと連携した事業	学校教育課	A

2 取組状況

<p>【健康増進課】 妊婦体験や赤ちゃんとのふれあい体験等、性に関する指導を目的とした出前講座を実施した。 対象：市内全中学校校、中学1年生。</p> <p>【学校教育課】 健康増進課と連携し、市内中学校において出前講座を実施した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	性に関する正しい理解の促進のための講座実施は十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>主な意見等なし</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	①	ひとり親家庭等への支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	ひとり親家庭等への支援	児童扶養手当	こども課	A
		ひとり親家庭等医療費助成	こども課	A
		高等職業訓練促進給付金等事業・自立支援教育訓練給付金事業	こども課	A

2 取組状況

<p>【こども課】 児童扶養手当支給額 16,415件、4,352,687千円。 ひとり親家庭医療費助成 15,085件、32,244千円。 高等職業訓練促進給付金 受給者10人、自立支援教育訓練給付金 受給者 2人。 窓口では様々な事情を抱える人が申請しやすくなるよう配慮し、経済的支援や孤立に陥らないための支援を関係課と連携して行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	ひとり親家庭等への支援に関する事業実施は十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>主な意見等なし</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境の整備

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	高齢者の就業促進と雇用の確保	シルバー人材センターの運営支援	いきいき長寿課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B
2	高齢者の自立に向けた生活支援	ふれあいバス・乗合タクシーの運行	くらし安心課	A
		むらづくり団体への活動支援	農政課	A
		地域見守りネットワーク支援事業	いきいき長寿課	A
		地域支援事業費（各種事業含む）	いきいき長寿課	A
3	高齢者の人権を尊重する介護の質の向上の促進	保険給付費（各種事業含む）	いきいき長寿課	A
		介護サービス等に関する情報提供	いきいき長寿課	A
		介護者の支援	いきいき長寿課	A
4	障がい者の自立支援と生活環境の整備	相談支援の充実	福祉課	A
		就労支援	福祉課	A
		社会参加の促進	福祉課	A
5	複合的な困難や課題に直面しやすい人々への支援	人権相談	市民生活課	A

2 取組状況

<p>【いきいき長寿課】 シルバー人材センターへの運営費補助を行った。会員数281人（うち男性196人、女性85人）。自治体単位の見守りグループ設置や活動に対する支援や啓発活動を行った。ころばん体操実施や家族介護者交流の支援を実施した。男性参加者が少なく課題である。介護サービス等に関する情報提供を全市民に対して周知し、個々の生活状況に合わせたサービス提供を行った</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を庁内に掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知したが、事業者への直接の周知はできなかった。</p> <p>【くらし安心課】 日常の交通手段の確保が必要な高齢者等のために、ふれあいバスや乗合タクシーを運行した。</p> <p>【農政課】 高齢者等の活躍の場となるむらづくり活動における各行事計画策定の指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。</p> <p>【福祉課】 同性職員での対応等、相談者の状況に応じた相談対応や個々の生活状況に応じた必要な支援の提供を行った。 社会参加促進のため、移動支援やスポーツ大会等を実施した。</p> <p>【市民生活課】 特設人権相談所を出水地区、高尾野地区、野田地区においてそれぞれ3回ずつ開設した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境の整備のため、情報提供やサービス提供は十分に配慮されていたが、企業に対してより直接的な情報周知を行い、理解の促進を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>相談については、問題が複合的であることが多いため、様々な相談窓口を周知していくことが大切であり、対面相談のあり方も工夫していかなければならないと思われる。</p>
--

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	③	生活困窮者等への支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	生活困窮状態にある人に対する自立に向けた支援	生活困窮者自立支援事業	福祉課	A

2 取組状況

<p>【福祉課】 自立相談支援実績135件、就労準備支援実績1件、住居確保給付金及び一時生活支援実績0件。 様々な事情を抱える人が相談しやすいように個室での相談対応等、相談者への配慮を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	生活困窮者等への支援に関する事業実施は十分に配慮されているため、現行の取組を継続する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>生活困窮者の支援については、特に若い女性の貧困割合が高い傾向にあるため、雇用につなげるための取組を行っていただきたい。</p>
--

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	6	男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
施策の方向	①	配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	暴力を容認しない意識の醸成	広報・啓発	企画政策課	A
		広報・啓発	市民生活課	A
		婦人相談	安心サポートセンター	A
2	交際相手からの暴力（デートDV）の予防啓発	情報提供	企画政策課	A
		保健センターと連携した事業	学校教育課	A
3	安心して相談できる相談環境の整備	家庭児童相談・婦人相談	安心サポートセンター	A
		母子相談	健康増進課	A
		相談機関の周知	生涯学習課	A
4	被害者の安全確保と心身の健康回復・自立に向けた支援	ドメスティック・バイオレンス（DV）対策	企画政策課	A
		住民基本台帳の閲覧等を制限する措置	市民生活課	A
		緊急生活支援対策	住宅課	A
		子育て短期支援事業	こども課	A
		女性相談センターや警察等との連携	安心サポートセンター	A
		高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会	いきいき長寿課	A
		母子健診・相談・訪問	健康増進課	A
5	家庭内の暴力により心理的外傷を受けた子どもへの支援	児童相談所や警察等との連携	安心サポートセンター	A
		子育て短期支援事業	こども課	A
		こども課等と連携した事業	学校教育課	A
		母子健診・相談・訪問	健康増進課	A

2 取組状況

【企画政策課】

HP、無線、全戸配布等により、DV及び児童虐待防止の広報啓発を行った。
DV対策庁内連絡会議は行えなかったが、安心サポートセンター設置による窓口の一元化を図った。

【市民生活課】

広報紙やHP等を通して人権及び人権相談について周知した。
関係課との連携体制を整え、支援措置や情報保護に努めた。措置対象者49人。

【安心サポートセンター】

婦人相談員1名、家庭相談員2名を配置し、配偶者や交際相手からの暴力被害等の相談に対応した。
個室や電話での相談対応によりプライバシーに配慮した体制を整備した。
関係機関との情報共有や家庭訪問の同行等を行い、被害者の支援の体制を整備した。

【学校教育課】

関係課との連携により支援体制の整備を行った。
中学校の随時依頼に対して、デートDVに関する講座を実施した。
関係機関との連携強化のためのネットワーク会議を年2回開催した。

【健康増進課】

相談者の心情に配慮した相談体制整備や関係機関等と連携しながら支援を行った。

【生涯学習課】

家庭教教育に関するリーフレットに相談窓口一覧を掲載し、研修会・イベント等で配布した。

【住宅課】

DV被害者に対し、公営住宅を優先的に貸出を行った。実績1名。

【こども課】

4箇所の児童養護施設と委託契約を締結し、要保護児童が入所できる体制を整えた。利用実績2名。

【いきいき長寿課】

高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会を開催し、関係機関と連携した支援の体制整備を行った。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援の推進に関する事業実施は十分に配慮されているが、支援を必要としている家庭を早期に発見し、適切な支援を行うため、積極的に取り組む。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

義務教育課程において、デートDV等を学ぶ機会が非常に重要と思われるため、確実に年間計画に位置付けるような取組があればよいと思われる。
性別に関する偏見について、情報や相談先を自分で調べない世代に対してどのように支援を届けるかが課題だと思われる。

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	6	男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
施策の方向	②	ハラスメント等の防止に向けた取組の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	セクシュアル・ハラスメント等防止に向けた取組	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	シティセールス課	B

2 取組状況

<p>【企画政策課】 関係機関が発信する情報をHPや庁内に掲載した。</p> <p>【シティセールス課】 関係機関からのポスター等を庁内に掲示し、関係法令や事業に関してHPで周知したが、事業者への直接の周知はできなかった。 企業への直接的な情報提供や意識啓発の方法については今後検討を行う。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	ハラスメントに関する啓発を充実させるため、庁舎内掲示等による啓発に限らず、企業に対してより直接的な研修案内や情報周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>男女共同参画全体として、事業所に対する取組は不足するところであるが、ダイバーシティ等、社会的な関心は高まってきているため、理解促進を進めていただきたい。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	①	人材育成等による地域コミュニティの基盤づくりの推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	地域での男女共同参画の推進を担う人材の育成・支援	市民を対象とした男女共同参画講座の開催	企画政策課	A
		地区コミュニティ協議会の活動支援	くらし安心課	B

2 取組状況

<p>【企画政策課】 市民向けに男女共同参画講座を開催した。</p> <p>【くらし安心課】 自治会に対し、性別による固定的役割分担意識に基づいた慣行の見直しや意思決定過程に女性が参画しやすくなるような雰囲気づくりを依頼し、男女共同参画の推進に関する講座等の情報提供を行ったが、直接的な研修の実施はできなかった。 自治会に対する直接的な情報提供については今後検討を行う。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	地域コミュニティの基盤づくり推進のため、庁舎内掲示等による啓発に限らず、自治会に対してより直接的な研修案内や情報周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>地域の方への理解促進については、現在の出前講座で実施が難しい場合はコミュニティ研修等での実施も検討していただきたい。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	②	男女共同参画の視点に立った防災体制の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	地域における生活者の多様な視点を反映した防災体制の推進	防災会議	くらし安心課	A
		女性消防団員の災害等における活動	消防本部	B

2 取組状況

<p>【くらし安心課】 性別に配慮した避難所運営を行うため、必要な情報収集を行った。 令和元年度の防災会議の委員に占める女性の割合4%。今後、各団体に女性委員の積極的な登用を依頼する。</p> <p>【消防本部】 消防団活動に関する広報周知等は行ったが、消防団員に対して性別に配慮した被災支援等、男女共同参画に関する情報提供は行うことが出来なかった。消防団員に占める女性団員の割合1.4%。（実数7名）</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	B	ウ	防災会議委員を依頼する団体自体に女性が少ないことや女性消防団員の活動への理解等に課題があるが、男女共同参画の視点に立った防災体制の推進のため、性別に配慮した被災支援等の情報収集や情報提供を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>現状の取組のままでは、計画に定めてる令和4年度における防災会議に占める女性の割合10%は達成できないと思われるため、公募枠を設ける等の取組を行っていただきたい。 また、女性消防団員についても、男性中心の活動しか見えない中で、どうやって女性が参加しようと思うのかが疑問であるため、女性消防団員の活動の広報をもう少し力を入れていただきたい。</p>

令和2年度 男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和元年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	③	男女共同参画の視点に立った自治会等地域活動の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	各種団体・組織等における方針決定過程への女性の参画を進める取組の推進	情報提供	企画政策課	A
		自治会役員への女性の参画拡大	くらし安心課	B
		むらづくり団体への啓発活動	農政課	A
		学習会の開催	生涯学習課	A
		スポーツ推進委員の女性の参画拡大	市民スポーツ課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 県が発行する団体等への男性・女性参画率に関する統計データをHPに掲載し啓発を行った。</p> <p>【くらし安心課】 自治会長に占める女性の割合2.8%（7人／253人）。 各自治会の方針決定過程への女性参画拡大について協力依頼したが、自治会への研修は実施できなかった。 自治会に対する直接的な情報提供については今後検討を行う。</p> <p>【農政課】 むらづくり活動において、各種行事計画策定等の際に女性の参画が進むよう指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。</p> <p>【生涯学習課】 PTA会員が集まる研修会でコーチングや人権学習についての講話を実施した。</p> <p>【市民スポーツ課】 定例会や各イベントを通じて老若男女問わずスポーツに取り組むことができる状況の創設活動を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ウ	各種団体・組織等における方針決定過程への女性の参画を進める取組は十分に配慮して行っていたが、自治会役員への女性の参画拡大を図るため、自治会に対してより直接的な研修案内や情報周知を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

自治会内においては、固定的性別役割分担意識が慣例となってしまうケースが多く見受けられ、性別にかかわらず皆でできることを分担する意識については、一つ一つの取組から変えていかなければならないと思う。また、役員等への女性参画については、女性が訓練を受ける機会が少なかったことが課題の一つとして考えられるため、これからを担う人たちと組織の在り方を変えていかなければならないと思う。